

和束町国民健康保険運営協議会 議事録

日 時 平成30年10月26日(金)
午後8時00分～
場 所 和束町役場西別館会議室

出席委員 公益代表：中井喜彦委員、松田隆之委員、大西峰夫委員
被保険者代表：籠嶋 渉委員、渡邊千代美委員、山田育子委員
保険医等代表：柳澤 衛委員、井上茂樹委員、山口政延委員
和束町 堀町長、久保診療所事務長
事務局(税住民課)：細井課長、吉田課長補佐、山崎主任

1. 開 会

2. 委嘱書交付

新しい任期のスタートであることから、町長から各委員に委嘱書交付

3. 町長あいさつ

今期の委員としてみなさんに委嘱書を交付させていただいた。よろしくお願
いします。

今日は平成29年度の国民健康保険特別会計の決算について審議いただく。よ
ろしくお願いします。

4. 会長・副会長選挙

委員から会長に中井委員、副会長に松田委員を推薦する声があり、全委員異議
ないことから推薦通り決定。

中井会長から「最後までよろしくお願いします。」と就任のあいさつ。

5. 議 事

会議録署名委 員の指名	被保険者代表：渡邊千代美委員 保険医等代表：山口 政延委員 を指名
----------------	--------------------------------------

- 1) 平成29年度和束町国民健康保険特別会計決算について
- 2) その他

税住民課 国保診療所	税住民課から配布資料「平成29年度和束町国民健康保険 特別会計(事業勘定)」に基づき説明。 国保診療所から配布資料「平成29年度和束町国民健康保 険特別会計(直診勘定)」に基づき説明。
---------------	---

委員	収納率が85.05%ということだが、これ以上増えないの
----	-----------------------------

	<p>か。年金からの天引きがあるから 100%に近くなるのではないのか。</p>
税住民課	<p>一般・退職合わせた現年課税分は少しずつではあるが年々上昇しており、29 年度は 95.91%。しかし滞納繰越分が 28.11%で足を引っ張っており、あわせて 85.05%となっている。</p> <p>滞納徴収については広域連合の京都地方税機構があたっている。税機構においては時効や生活困窮など収納の見込みのないものについては不納欠損処理を行い、現年度の支払いに充ててもらおうように努力している。現年度分の上昇はその結果と思われる。</p>
委員	<p>長年積み立ててきた年金から引かれているものと、払わないで通ってしまう人と不公平感があるので収納率を上げてもらうよう努力してもらいたい。</p>
委員	<p>予算額、調定額、収入済額、不納欠損額、収入未済額、収納率の意味と、収納率が高いとどうなのか、低いとどうなのか。</p>
税住民課	<p>予算額…前年度の実績等をもとに各事業などの見込み額を積み上げていったもの。</p> <p>調定額…課税の確定した額。</p> <p>収入済額…入ってきた額。</p> <p>不納欠損額…時効、生活困窮、居所不明等で回収が不可能であると認められるもの。</p> <p>収入未済額…調定額－収入済額</p> <p>収納率…調定額に占める収入済額の割合</p> <p>保険税収入を見込んで事業を展開するので、高ければ高いほど事業がやりやすい、低いほど事業がやりにくくなり、国保の運営が厳しくなる。</p>
委員	<p>保険税を払わないと保険証がもらえないが…</p>
税住民課	<p>納付額が一定の基準以下の場合、有効期限を短くした短期証を発行している。面接の機会を増やして徴収に向けた話をしている。</p>
委員	<p>5,300 万の黒字の要因は。</p>

税住民課	前年度からの繰越金が約 5,000 万円ある。また基金に 2,000 万円を積み立てているので単年度の黒字としては 2,300 万円となる。
委員	ジェネリックの加算は 4 点、加算でどれだけ利益収入が上がったのか。先発とジェネリックの薬価差益の差（ダウン）は減収となるが直診ではどんな状況か。
国保診療所	受診者の健康維持、経済面からジェネリック製品を増やすことをしている。経営面からは厳しいところもあるが、安価で安全性の高いジェネリックを安定的に使うこととしている。決算では単年度 160 万円程度の赤字でありジェネリックの使用もその要因の一つと思われる。
委員	基金の現在高は？
税住民課	3,500 万円の基金を積んでいる。
委員	不納欠損の一番大きな理由は。
税住民課	不納欠損の理由としては時効、居所不明、生活困窮など。
委員	資格喪失後受診の対応、注意喚起できないか。
税住民課	保険証更新時などに案内を行っている。また金額が多額の場合は保険者間調整を行っている。
委員	財政調整基金への積み立てについて。
税住民課	27 年度 500 万円、28 年度 1,000 万円、29 年度 2,000 万円、計 3,500 万円。
委員	国保は健全なのか。また問題があるとしたらどこにあるか。
税住民課	健全であるとは思いますが、収納率 95%をもっと上げなければならぬ。
委員	赤字になりそうな時の対応は。
税住民課	基金の取り崩しや京都府からの借り入れ等が考えられる。

委員	昔のように納税準備貯金があれば収納率が 100%近くなるだろう。
委員	人間ドックや特定健診受診後の予防は。
税住民課	特定保健指導として保健師に協力してもらって、動機付け支援や積極的支援レベルの方へのアプローチをしてもらっているが、なかなか受診に結びつかない。
委員	4割弱の人しか健診を受けていない。もっと意識を持ってもらい受診率を上げていかなければならない。
税住民課	個人負担を無料にしたり期間を延ばしたりして受診しやすい環境づくりに努めている。
委員	がん検診に合わせて受けられるよう PR したらよいのではないか。
委員	健康に対する意識風土があって、なかなか受けられない。無料にしても期間を延ばしても受診に来ない方は何をやっても来ない。興味がない。町外の医療機関にかかっている人は健診だからといって町内の医療機関に来られる方はほとんどいない。普段から意識を持つという教育が必要。
委員	歯科の健診も入れていただきたい。 町のイベントごとがあるとき、歯科医師会の山城支部に投げかけていただければ、ボランティアで参加させていただくことができる。
会長	平成 29 年度決算について意見や質問等、出尽くしたので、その他について説明願います。
税住民課	平成 30 年度の状況 歳入…国保税の収納状況では現年課税分では 42.26%、滞納繰越分は 17.78%。 歳出…保健事業として人間ドックの申込受付し定員 150 名に対し 140 名の申し込みがあった。

